

2026年度【長崎川棚医療センター看護職員負担軽減計画】

○引き続き取り組む内容

- ・業務量の調整 → 時間外労働が発生しないよう業務量の調整
- ・看護職員と他職種との業務分担 → 薬剤科、リハビリ、検査科等
- ・短時間正規雇用の活用
- ・多様な勤務形態の導入 → 各職場に対応可能な勤務線表の導入
- ・妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 → 院内保育所、夜勤減免、各種休暇制度、他部署への配置換
- ・夜勤負担の軽減 → 夜勤従事者の増員、夜勤回数上限設定

【看護師の勤務軽減に向けての個別対策】

項目	当院の状況	必要な対処等	詳細対応	評価
出産・育児・介護の確保に配慮した看護配置	看護部・事務部での試算・評価を引き続き行う	・予定リストを基に配置を検討 ・ワークライフバランスパス作成	・配置数、夜勤時間など施設基準を考慮し、非常勤職員の補充などを含めて配置を検討することで各種制度を利用できるよう調整する。	実施中
看護職員の確保	配置数（2026.4.1時点） 常勤：164名＋派遣看護師2名（6月で終了） ＊新採用者13名、内新人看護師5名 非常勤：8名	・各看護学校訪問、就職説明会 ・職場見学 ・離職防止対策	・受け入れ体制の確保 ・新人教育、支援	実施中
看護補助者の確保	配置数 メディカルケアサポーター：7名 業務技術員：6名 療養介助専門員・療養介助員：14名 （前年より－1名 定数19名）	・メディカルケアサポーター、業務技術員への活用がより機能するよう、入院案内等の業務改善の実施 ・療養介助員は定数に見立っていないため募集実施	・タブレット活用した入院オリエンテーション実施に向けた取り組み（業務委員会） ・ホームページおよびハローワークを活用した採用募集	実施中
看護記録に係る負担軽減	リアルタイムでの記録ができておらず、勤務終了直前に入力集中してしまう。 入院時に必要な記録が多く、入院処理に時間を要するため、負担および超過勤務発生となる	入院処理に係る時間、内容から要因、対策を検討し取り組む	副看護師長研究会の記録担当グループにてQC手法を用いて取り組む	実施中